



新しい校歌を力強く歌う児童生徒たち



▲生田教育長から砂流校長へ校旗授与



新しい歴史が始まるー。

義務教育学校 日野町立日野学園で開校記念式典・入学式



▲児童生徒代表で誓いの言葉を述べた9年生の川上柁斗さん

4月10日に、義務教育学校「日野町立日野学園」の開校記念式典が、4月11日には入学式が、同校の体育館で行われました。

日野中学校、根雨小学校、黒坂小学校が統合した、小中一貫の義務教育学校「日野町立日野学園」。入学式で1年生14人が加わり、全校生徒児童111人で新たな学校生活がスタートしました。

開校記念式典では、生田求教育長が開校宣言し、校旗を砂流誠吾校長に授与しました。また、児童生徒を代表し、9年生の川上柁斗さんが、「日野学園児童生徒の自覚を持ち、新しい日野学園の日常を今日からつくりあげていきます」と力強く宣誓。全員で新しい校歌を歌い、新たな母校に期待をふくらませました。

入学式では、在校生や保護者らが見守るなか、新1年生14人が入学しました。新1年生たちは、緊張した面持ちで会場に入場。担任に一人ずつ名前を呼ばれると、元気よく手を挙げ、在校生の歓迎のあいさつには笑顔を見せていました。



▲緊張しつつも元気に入場しました





しゃぼん玉めがけて全力疾走！

おむすびCafe 校庭に大きなしゃぼん玉を飛ばそう！

4月16日、日野町リノベーションLabの拠点である旧黒坂小学校で、「おむすびCafe 校庭に大きなしゃぼん玉を飛ばそう！」が行われました。

同イベントは、ラボのメンバーであるNPO法人ノーム（南部町）が企画したもの。集いの場づくりを目的に、校庭で大きなしゃぼん玉をつくる体験コーナーや、おむすびセットを販売するカフェを開きました。

会場では、地域住民の交流の声や、しゃぼん玉で遊ぶ子どもたちの楽しそうな声が響き渡っていました。

校庭にしゃぼん玉舞う



子どもに大人気のスライム作り

4月30日、黒坂のまちなかで、「黒坂フェスタ2023 春らんまん」（黒坂フェスタの会主催）が開かれました。

当日は黒坂のまちなかに多くの屋台が立ち並び、町内外からたくさんの方が訪れ、買い物を楽しむ様子が見られました。

また、旧黒坂小学校の多目的教室では「子どもものづくり道場」が開かれ、スライム作りや紙コップを使ったおもちゃ作りなど、子どもも大人も工作を楽しんでいました。

まちなかに活気あふれる
黒坂フェスタ2023春らんまん

集落支援員
だより

SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



4月12日、島根県
邑南町川角集落へ視察
ツアーに行きました。

7世帯8人、高齢化
率100%の集落は、平
成18年から花桃の木
を植え始め、今では



2,500本の花桃と菜の花で彩られ、限界集落ゆえに「天国に一番近い里」と称されています。この時期になると、テレビで幾度となく取り上げられる集落です。

樹木の種類、下草・枝切・雑草管理、見学客の受け入れ体制など多くのことを教わりました。夏には桃の実が落ちて、その実を植えると2～3年後には花が咲くそうです。視察に参加した皆さんから「あの辺りがいいんじゃない」「ここを整備してみようか」と会話が聞こえてきました。

8月に、桃の実を拾いに行ってきます。



久しぶりの再会にっこり笑顔

4月2日、関西地区日野町出身者懇談会「ひの郷会」の花見会が、大坂公園内で開かれました。

当日は、ひの郷会の会員と関係者を含めた10人、町職員2人が参加。好天にも恵まれ、満開の桜のもと、春の陽気に包まれながら和やかに花見が行われました。

今回参加した人の中には、この日初めて会うという人の姿も。自己紹介や昔の思い出話、それぞれの近況など話題は尽きず、にぎやかに語り合っていました。

満開の桜のもと、思い出話に花が咲く
「ひの郷会」お花見会